

日本で安心・安全に暮らすために

7か国語による

快適生活情報クリップ



教育編

Information booklet
for cozy life in Japan

快适生活情报册子

Folleto informativo
para llevar una vida
confortable

Panfleto informativo
de vida agradável

쾌적 생활정보책자

Impormasyon para sa
matiwasya na
pamumuhay sa Japan

Education

教育篇

Educação

Educación

교육편

Edukasyon



がいこくじんのみなさまへ 外 国 人 の 皆 様 へ

ふじみの国際交流センターには、夫婦や子どもの問題、仕事探し、近所とのトラブルなど、年間約700件の相談が持ち込まれます。

どうしてこのような問題が起きてしまうのかと考えた時、人の一生の中で教育がどんなに大切かと感じます。

生まれた国によって教育に対する考え方はそれぞれ違うと思いますが、日本で生活していくには、最低限度の知識と技術が必要です。

その上に、物事に対する考え方や取り組み方、将来を見据えた準備や計画、周りの人との接し方など、大人になってからの学びも大切になります。毎日が学びの場と考えて、生活を楽しんでください。

ふじみのこくさいこうりゅうせんたーには ふうふや こどもの もんだい しごと さがし きんじょとの とらぶる など ねんかん 700 けんの そうだんが もちこれます。

どうして このような もんだいが おきて しまうのかと かんがえたとき ひとの いっしょのなかで きょういくが どんなに たいせつ かとがんじます。

うまれた くに よって きょういくに たいする かんがえかたは それぞれ ちがうと おもいますが ほんで せいかつ していくには さいていげんの ちしきと ぎじゅつが ひつようです。

そのうえに ものごとに たいする かんがえかたやとりくみかた しょうらいを みすえた じゅんびや けいかく まわりの ひととの せっしかたなど おとなに なってから まなびも たいせつになります。まいいちが まなびの ばと かんがえて せいかつを たのしんでください。

もくじ

Q1 日本語能力試験(JLPT)について

4

Japanese Language Proficiency Test (JLPT) 7 有关日本语能力考试(JLPT) 11

Exame de proficiência da língua japonesa(JLPT) 14 Examen de aptitud del dominio

de la lengua japonesa (JLPT) 18 일본어능력시험(JLPT)에 대해 22

“Japanese Language Proficiency Test” (JLPT) 25

Q2 保育所(園)に子どもを預けて働きたい

4

I want to leave my child in a child care center during my work. 7 把孩子寄放育儿所

(园)想出外工作 11 Quero trabalhar deixando o filho na creche 14 Quiero

trabajar dejando a mi hijo en una guardería. 18 보육소(원)에 아이를 맡기고

일하고 싶다 22 Nais kong paalagaan ang aking anak habang ako ay nag

hahanapbhay. 25

Q3 小学校入学までの手続き

4

Application procedure for elementary schools 7 小学校入学之前的手续 11

Trámites para ingresso na escola primária. 14 Trámites para ingresar a la escuela

primaria 18 초등학교 입학까지의 수속 22

Proseso ng Aplikasyon para sa paaralang elementarya. 25

Q4 学校のPTA(ピーティエー)役員に自信がない	5
I'm not confident to participate in the PTA committee of school.	8
(Parent-Teacher Association) 役員担任没有自信	12
ser membro da PTA da escola.	14
No tengo confianza en mi para asumir un cargo de la PTA.	19
학교의 PTA 임원에 자신이 없다	23
Wala akong lakas ng loob sumali bilang "PTA committee" sa paaralan.	26
Q5 学年を下げて中学校に編入したい	
I want to transfer to a class one grade below I expected to be in.	8
降低学年、想 編入中学	12
Quero ingressar no ginásio abaixando a série.	15
Quiero estudiar en la escuela secundaria en un grado menor a mi edad escolar.	19
학년을 낮추어 중학교에 편입하고 싶다	23
Nais kong lumipat sa grado na mas mababa sa inaasahang grado sa kasalukuyan.	26
Q6 日本の高校への転編入について	
Transfer to a Japanese high school	9
有关日本高校编入、转入的问题	12
Fazer transferência para o colégio do Japão.	15
Ingresar al primer año de la escuela secundaria superior de Japón	19
일본 고등학교의 전입, 편입에 대해	23
Paglipat sa "Japanese high school"	27
Q7 日本の高校の種類について	
Types of Japanese high school	9
有关日本高校的种类	13
Tipo de colégios existentes no Japão.	16
Tipos de escuela secundaria superior en Japón	20
일본일본 고등학교의 종류에 대해	24
Uri ng "Japanese high school"	27
Q8 留学生として大学に入るには	
Application for Japanese universities as an international student	10
以留学生进入大学	13
Ingressar na faculdade como bolsista.	17
Ingresa a la universidad Japonesa como estudiante extranjero	21
유학생으로서 대학에 들어가기 위해서는	24
Aplikasyon para sa "Japanese universities" bilang "international student"	27
Q9 大学を退学して就職したい	
Leaving an university for work	10
大学退学、想就业工作	13
Quero deixar a faculdade e arranjar um emprego.	17
Dejé los estudios universitarios, obtuve un empleo	21
¿Puedo trabajar?	24
대학을 퇴학하고 취직하고 싶다	24
Paglisian sa unibersidad upang maghanapbhay.	28
東武東上線の日本語教室一覧	
Japaneses language classes in the areas on the Tobu-Tojyo line	29
东武东上线沿线的日本教室指南	
Guia de classes de japonês existentes nas proximidades da linha Tobu Tojosen	
Instituciones que enseñan japonés situadas a largo de la linea Toubu Toujyou	
토부도조센 연선의 일본어 교실 안내	
Mga "Japaneses language classes" sa lugar ng "Tobu-Tojou line"	
母国語で相談できるところ一覧	
List of help centers in your languages	31
能使用母国语商量、咨询处一览	
Guia de consultas em idioma materno	
Relación de instituciones donde puede hacer consultas en su idioma materno	
모국어로 상담할 수 있는 곳 일람	
Listahan ng mga "help centers" ayon sa inyong salita.	

日本語
P4～P6English
P7～P10中国语
P11～P13Português
P14～P17Español
P18～P21한국어
P22～P24Tagalog
P25～P28

Q.1

日本で働くときにも役立つといわれている日本語能力試験 (JLPT)について教えてください。 [ロシア・女性]

A 日本語能力試験は日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験で、日本語の試験としては最も受験者の多い試験です。2010年に変更された新試験は5段階に分かれており、自分に合ったレベルを選べます。試験は7月と12月の年に2回に実施され、答えはすべて4択のマークシート方式です。問題は文字・語彙・文法・

読解・聴解です。問題例はインターネットで見ることもできますが、問題集を書店で買って何度も繰り返し学習することをおすすめします。



日本語能力試験に合格すると自信がつき、進学、就職するのにも有利になります。近くの日本語教室で検定試験対策の勉強を見てもらい、ぜひ挑戦してください。

Q.2

生活が苦しく、私も働きたいと思っています。2歳の女の子を預かってくれるところはありますか。保育所、保育園、幼稚園など耳にしますが、どう違うのでしょうか。 [中国・女性]

A 保育所や保育園は保護者が仕事に就いたり病気のために家庭で十分に保育ができないなどの子どもを、保護者に代って保育してくれる施設です。どちらも内容は同じと考えていいでしょう。仕事をする場合、幼稚園は目的に合っていません。入所(園)希望者全員が入れるとは限りません。書類の内容を関係部署が検討し、優先順位をつけて定員までを決定します。空き

ができた時に待っている子どもも優先順位で入ります。4月以降の入所希望者も空きがない場合、待つことになります。

保育料は生活保護家庭の無料から高い保育料の場合は月5万円位まであるということです。比較的多いと思われる額としては2万円台が多いようです。



Q.3

フィリピンから子どもを呼び寄せました。小学1年生として入学します。手続きを教えてください。 [フィリピン・女性]

A ①市役所から就学時健診や入学説明会の手紙が届くように必ず外国人登録（平成24年7月以降は住民登録）をしておきましょう。前年の9月か10月頃に手紙が届きます。
②指定された日時に学校に行き、身体測定、知能検査、歯科、耳鼻科、内科検診を受けます。（ここで入学説明会の案内を受け取ることもあります。）
③指定された日時と場所で入学説明会を受けてください。
購入する学用品や入学までにやっておくべ

きこと、準備するものの説明を聞きます。（学校へ持っていくものはすべて名前を書きます）

④指定された日時に、指定された学校に入学届を提出し、入学の手続きが終わります。



小学校入学前にひらがなを読んだり、自分の名前が書けるようにしておくとよいと思います。また、日本では入学式の日は母子ともにちょっとおしゃれをしていくのが風習になっています。

Q.4

長女の通う小学校から PTA(ピーティイー)役員の順番が回ってきました。PTA ってどんなことをするのですか。日本語がよく話せないので、引き受けける自信がありません。【ポルトガル・女性】

A PTA 役員は本部と専門委員会があります。専門委員会は学年委員、広報委員、給食委員、ベルマーク委員、環境委員などがあります。時間のやりくりや大勢の人と一つのことをしなければならないなど、役員になるのは不安かもしれませんがプラスのこともあります。学校へ行く機会が多いので、“今、学校やクラスで何が起こっているのか、子どもたちの様子はどうなのか”を自

分の目で確かめることができます。先生と直接話す機会も増えます。役員の母親たちと仕事や役割と一緒に取り組むうちに一年後には自然におしゃべりができる関係になっているはずです。

good!~

地域の人と、仲良くなれる良い機会です。自信がないのはみんな一緒。肩の力を抜いて、活動に参加してみましょう。

Q.5

子どもを中国から呼び寄せました。中学 3 年の学齢ですが、日本語がわからないので中学 2 年に編入させてくれませんか。【中国・女性】

A ①市町村の教育委員会へ行って相談をします。教育委員会によっては学齢を下げて編入を許可してくれるところもありますが、ほとんどの場合、年齢通りの学年に入ることになります。
②中学 3 年に編入して 3 月まで学習することになった場合、直接校長先生に会いに行き、来年もう一度 3 年生として勉強したいことなどを熱心にお願いし、相談してみましょう。

point!

教育方針を決める文部科学省は、年齢に合った学年に編入させるという学齢主義です。学年を変えて編入したり、3 年を 2 回繰り返すのは国の方針に合っていないわけで、希望通りにならなくても仕方ありません。それよりも中学 3 年生になって呼び寄せられた子どもの負担に心を配り、勉強を教えてあげたり、日本語教室や塾に通わせるなど、家族全員でその子のために努力してください。

Q.6

中国の高校 1 年の途中で来日しました。日本の高校に入りたいのですが。【中国・男子】

A 日本の高校に入るには三つの方法があります。母国の高校に在籍中に来日した場合【転入】、学校は退学しているが習得単位がある場合【編入】、習得単位がない場合【再受験】となります。

転入や編入の場合は①まず「彩の国さいたま公立高校ナビゲーション」で検索したり埼玉県教育局県立学校人事課（048-830-6735）に転編入できる高校があるかどうか問い合わせます。②高校に電話をして転編

入の受け入れの確認をします。③高校を見学して入学の相談をしてください。④母国の高校に連絡をとり、在籍証明書や成績証明書を送ってもらいます。⑤転編入試験を受けます。

再受験の場合は改めて高校受験をすることになります。日本人中学生を対象とした一般入試を受けなければなりません。受験方法はQ7「日本の高校」を参考にしてください。



Q.7

来日してすぐ、高校入試に向けて勉強を始めました。日本の高校にはどんな種類がありますか。 [中国・女子]

A 日本の高校には目的や経済面などで分類されています。公立高校は都道府県や市町村が設立した高校で授業料は無料ですが、1校しか受験できないため第2希望として私立高校を受験することもあります。どうしても公立高校を希望する場合は、慎重に選択しなければなりません。

また、来日して3年以内で、保護者と同居していることを条件に、外国人特別選抜入学を実施している高校が県内に6校あります。数学・英語の学力検査と日本語による個人面接を実施します。詳しくは埼玉県教育局県立学校人事課(048-830-6735)に聞いてください。

私立高校は民間が設立した高校で授業料は年間平均36万円くらいで、中には外国人クラスを設置する高校もあります。

また、日本の高校は全日制、定時制、通信

制と三つのタイプがあり、日中6時間3年間で卒業となる全日制が一般的です。仕事と学業が両立できる定時制は夕方から通学します。通信制は基本的に自学自習で、レポート、面接、試験を経て単位を取得しています。

また、高校には普通科のほか、専門学科(工業科、商業科、農業科、外国語科など)を併せ持つ高校もあります。



「日本語を母語としない生徒のための高校進学ガイダンス」が年1回開かれ、高校に入った生徒の体験談や各高校の説明があります。ぜひ参加してください。

高校を選んだら高校入試に向けて地域の模擬試験を受けましょう。また、夏から秋にかけて実施される学校説明会に出かけ、個別相談を受けましょう。

Q.8

息子は定住ビザを持っています。留学生として大学に入ることはできますか。 [韓国・女性]

A 大学や学部により外国人入試のための出願資格が違います。外国人入試で受験する場合、たくさんの条件があります。志望大学の志望学部が決まったら、その大学の外国人入試要項をインターネットなどで調べましょう。

受験資格の条件

①日本国籍ではない人 ②国内外を問わず

12年の学校教育課程を修めた人、または受験する年の3月までに修了見込みの人

③日本の教育制度に基づく中学校・高等学校の在籍期間が通算1年以内であること

④「日本留学試験」を受験済みか受験予定の人

詳しくは直接、希望する大学の学生課に問い合わせるとよいでしょう。

Q.9

留学ビザの途中で大学を退学し、就職の内定をもらっています。このまま就職しても大丈夫でしょうか。 [中国・女性]

A 途中退学した場合、在留資格がなくなります。このまま働くと不法就労となりますから一度帰国して就労ビザで再入国することになります。帰国前に内定した会社に保証人になってもらい、日本の入管に就労ビザの申請をしてもらうとよいと思います。許可がお

りたら、母国の大使館に行ってビザを受け取ってから日本に来てください。



日本と母国の橋渡しとなるよう、がんばって仕事をしてください。期待しています。



Q.1

What is the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), which has been said that it is useful to get a job? [Female from Russia]

A The Japanese Language Proficiency Test (JLPT), the largest-scale Japanese language test in the world, is held to evaluate and certify proficiency in Japanese of non-native speakers. The revised JLPT since 2010 offers the 5 different levels to choose according to your Japanese proficiency. The test is given twice a year in July and December. The questions are in a multiple choice format and selected from the categories of letters, vocabulary, grammar, reading and listening comprehensions. We recommend to study the test books available in the bookstores repeatedly rather than checking test samples on the website.



Once you pass the JLPT, you will be confident in your Japanese skills. In addition, it will help you to go to a college or to find a job. Don't be afraid to challenge the test! Go to the Japanese language class in your living area and ask for supports to study.

Q.2

I need to get a job to earn living expenses. Is there any services to take care of my 2 year old daughter? I've heard about child care center, preschool, and kindergarten etc. How different are they? [Female from China]

A Both child care centers and preschools are available for parents who are not able to raise their children by themselves due to their works or illnesses. You may assume that both institutions provide almost same services. On the other hand, kindergartens are not designed for working mothers. All applicants are not guaranteed for enrollment. Application documents are carefully reviewed and prioritized for an enrollment limit. Children on the waiting list will be accepted in a descending order once a space is available. Even a school year starts in April, applicants on the waiting list still have to wait for a space.

Childcare fees vary in a range from free to 50,000 yen at most depending on your welfare benefits.

The amount of a fee most people pay is around 20,000 yen.

**Q.3**

I brought my child from Philippine. Please tell me about the application procedure for enrolling in a first grade of a Japanese elementary school. [Female from Philippine]

1. Apply for a foreign registration card (or resident registration after July 2011) at a local municipal office. Then, you will receive notices for school events such as health check-up and an admission orientation in September or October before starting a school year.
2. Visit the elementary school on the date indicated on the letter and take health check-ups, body measurement, intelligent test, and dental, otolaryngological, and medical exams. (You might be given an invitation letter for an admission orientation at this time.)
3. Attend the admission orientation on the designated date and place. School staffs explain what

you need to do beforehand such as school supplies you have to prepare. (You need to put your child's name on all her belongings.)

4. Submit an admission permission to the specified school on the designated date.

 Practicing Japanesees, such as reading *hiragana* and writing your child's name beforehand might be helpful. On the day of an entrance ceremony in Japan, there is a custom that children as well as parents get formally dressed up a little bit.

Q.4

I have to participate in a PTA committee at my daughter's school this year. What is the role of the PTA committee? I'm not confident to take over the task of the PTA because I can not speak Japanese well. [Female from Portugal]

A The PTA committee is an organization, composed by headquarters and specialized sessions, such as board of grade, public relations, school lunch, bell-mark, and environment sessions etc. You might feel anxious about taking over the task of the committee because you might have little spare time or you have to complete each task by working together with many people. However, you are able to get many advantages from working for PTA at the same time. Since you visit a school often, you will be actually able to see in your own eyes what is happening and how children are doing in a classroom. In addition, you will have many chances to talk directly with teachers. Through working with other parents in the committee, good relationships must be established naturally in just over a year.



This is a good opportunity to get along with people in the community. Everyone is the same as well as you feel. Relax and enjoy to participate the PTA activities.

Q.5

I brought my child from China. S/he is a 3rd grade of age in Chinese junior high school. However, his/her Japansese skill is not good enough to study at a 3rd grade in Japan. Is it possible to enter a 2nd grade in Japanese junior high school? [Female from China]

A 1. Visit a school board at the local municipal office. Although there are some exceptional cases for repeating a grade, most of the cases, a child enrolls in his/her year grade. That is, an age of child decides their grade in Japan.

2. If your child is placed at a 3rd grade for this school year, ask the principle in the high school directly for repeating 3rd grade next year.

 The educational policy of the Ministry of Education is that child's age determines his/her school grade. Therefore, if your child repeats 3rd grade again, it does not fit in the national policy. Rather, important thing is to pay close attention to the child and make every effort to support him/her

since he/she came to Japan in a 3rd grade of a junior high school, which is a very important time.

Q.6

I came to Japan in the first year of high school in China. How can I enroll in a Japanese highschool? [Male from China]

A There are 3 ways to enroll in a Japanese high school; a) transfer to Japanese high school during period of residence in your country, b) transfer with units earned in your country after leaving your country, and c) resit without units.

(a) and (b); 1. Research on the website, "sai no kuni Saitama", about a high school entrance guidance or contact Saitama Preternatural Education Center (048-830-6735) for availability of ransfer schools.

2. Make a phone call to the high school and confirm the availability.

3. Visit the school and ask for the admission procedure 4. Contact the high school in your country and request for sending a certificate of enrollment and transcript 5. Take an exam for admission

(c); As same as Japanese junior high students, you have to take an entrance exam of a high school. Please refer to Q7 as follows.

**Q.7**

I started to study for an high school entrance exam as soon as I came to Japan. Please tell me the types of high schools in Japan. [Female from China]

A You are able to choose high schools depending on your learning purposes or economical reasons. Since public high schools are established by prefectural governments, you are not required for paying its tuition. However, you have to decide a public school carefully since you are able to apply for only one school at once. You may apply for private schools for insurance.

There are 6 high schools in Saitama where provide special selection method for foreign applicants who have lived in Japan with legal guardians for a total of less than 3 years. Requirements of the special selection of method are academic achievement tests of math and English and an interview in Japanese. Please contact Saitama Prefectural Education Center regarding public schools for more information.

Private schools are established by private institutions. An average costs of private schools are about 360,000 yen. Some private schools offer classes for foreign students.

There are 3 types of high schools depending on kinds of curriculum; full-time, part-time and correspondence courses. Full time students, are the most popular in Japan, spend 6 hours a day in schools and graduate after 3 years of their schooling. Part time students, who work during a day, go to school at evening. Students in correspondent courses basically study at home. In order to earn credits, students in correspondent courses need to submit reports, be interviewed and take exams.

Some schools offers special subject courses (Industrial, Commercial, Agricultural, Foreign

Languages, etc.) in addition to a regular comprehensive course.



Participate in the guidance so called “high school entrance guidance for students of non-Japanese speaker” held once a year. You will be able to hear about students' actual experiences in schools and school orientations etc.

Once you decide a high school, try to take some mock exams of the entrance test. Also, participate in school orientations and receive an individual consultation held in summer and fall .

Q.8

My son has a long-term residential visa. Is he able to apply for Japanese university as an international student?

〔Female from Korea〕

A You have to meet a variety of requirements which are different from universities and departments for applying Japanese university as a foreign student. Once you decide universities, check qualifications of applicants on the internet etc.

Qualifications of applicants;

1. a person who does not have Japanese nationality.
2. a person who has completed or is expected to complete 12 years of high school education overseas,
3. a person who has enrolled in Japanese public school for a total of less than one year.
4. a person who has passed or is expected to take the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)

Contact an university you apply for more information



Q.9

I am holding a student visa. I've left my university before getting a degree since I've received a job offer. Is it OK to start my job? 〔Female from China〕

A Your student visa is expired when you leave your school. Therefore, it will be illegal to work if you start your job. You need to go back to your country and change your student visa to a working visa. You may find someone in your expected company to be your guarantor and let them submit a visa application to Japanese immigration. Once you receive a notice of permission for a working visa, go to the embassy in your country and receive the visa to come back to Japan.



Do your best to act as a bridge between Japan and your country. I wish your every success in your new job.



翻訳／矢口真紀子

Q.1

在日本工作时、听说取得资格，能有所帮助；请告诉我有关日本语能力考试(JLPT)。【苏俄·女性】

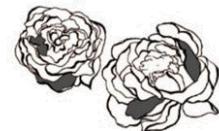
A 日本语能力考试是不以日本语为母国语者，测定日本语能力的认定考试，作为日本语考试是最多人参加的考试。2010年更改新的考试，分为5阶段，能选择适合自己水平，参加考试。考试在7月、12月、1年实施2次，问答题全部是选择题4选1的记号标记方式。问题是文字、语汇、文法、读解、听解。

建议您可上网阅览问题例子，或者可在书店

购买问题集，有利于您反复学习。



通过日本语能力考试，能让您充满自信，进学、就职也非常有利。请在附近日本语教室，针对日本语检定对策学习，请务必鼓起勇气一试。

**Q.2**

生活困苦，我想出外工作。不知道有哪里可寄放2岁的女孩。听说过保育所、保育园、幼稚园等，这有什么不同吗？【中国·女性】

A 保育所以及保育园是指父母工作关系、还有因生病的关系无法照顾孩子等，能代替父母照顾孩子的设施。保育所和保育园的内容大致一样的。如果是因工作，必须寄放孩子，那样的话，和幼稚园的主旨目的是不符合的。

入所(园)希望者、并不是全部都可入所(园)的。书类内容必须经过关系部署审核，并按照顺序决定定员。有空额时，按照等候的孩

子顺序来补足人数。4月以后的入所(园)希望者，没有空额时，也只有等待了。

保育费用从生活保护家庭的免费至高额保育费每月5万日元左右。一般来说保育费用2万日元比较多。

**Q.3**

从菲律宾把孩子申请来到了日本。以小学1年级入学。请告诉我手续的申请办理。【菲律宾·女性】

A ①市役所将寄送就学健康诊察以及学校说明会的通知，请务必办理外国人登录(平成24年7月以后为住民登录)。前年的9月或者10月时将会寄来通知。

②在指定的日期到校，接受身体测定、智能检查、牙科、耳鼻科、内科健康诊察。(有时在此可取得入学说明会的通知书类。)

③在指定的日期和场所，参加入学说明会。在说明会上、针对购买学校用品以及在入学

前必须做的准备，将给予详细的说明。(携带至学校的物品、全部必须书写名字)

④在指定的日期、指定的学校，提出了入学申请，入学的手续到此告一段落。



小学校入学前最好能读平假名、能书写自己的名字。另外、在日本的入学式，风俗习惯上母子都会在外表稍微作打扮、穿着外出服装出席。

Q.4

长女小学校的 PTA (Parent-Teacher Association) 担任役员的顺序，快轮到了我。PTA 是做什么事情呢？不太会说日本语、实在没有自信承担这份工作。【葡萄牙·女性】

A PTA 役员有本部和专门委员会。专门委员会设有学年委员、广告委员、给食委员、ベルマーク（集点数）委员、环境委员等。必须花费时间和很多人一起完成一件事情，担任役员可能会感觉到不安，但是、也有很多好处。

担任役员到学校走动的机会很多，“现在、学校、班级发生了什么事了？孩子在学校的学

习情况等”都可亲眼的看到，和老师直接交谈的机会也增多。和役员妈妈们一起工作承担职务，在 1 年后就应该能自然而然得建立起信赖关系。



这是和地区的人相处的好机会。没有自信、大家都是一样的。放松自己，积极得参加活动吧。

Q.5

把孩子从中国申请来到了日本。学龄是中学 3 年级，因为不懂日本语，可否编入中学 2 年级。【中国·女性】

A ①至市町村的教育委员会商量咨询。根据教育委员会的说明，降低学龄编入也是有的。但大部分是依照学龄编入学年的。
②编入中学 3 年级，学习至 3 月时，请直接和校长面谈，明年再一次以 3 年级的身分努力学习，并热心地向校长传达此学习意欲。



文部科学省的教育方针决定，根据年龄

编入学年，变更学年编入，3 年级的课业 2 次反复学习是不符合国家的教育方针。不能如愿编入是无可奈何的事。反正已经把 3 年级的孩子、申请来到了日本，该担心的是对孩子心理负担；协助孩子学习、上日本语教室、或者上私塾（补习班）；为了孩子的将来，家人必须努力的协助孩子。

Q.6

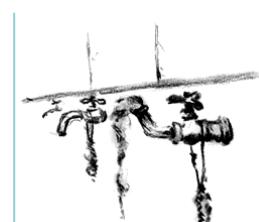
在中国高校就读 1 年级，途中来日，想进入日本的高校，不知该怎么办？【中国·男子】

A 欲进入日本高校有 3 个途径。母国高校在籍中途中来日本时【转入】、学校退学、其出席率足够时【编入】出席率不足时【再受验】。

转入和编入时①必须事先上网阅览「彩の国さいたま公立高校ナビゲーション」或者向埼玉県教育局県立学校人事課

（048-830-6735）询问可否有转入、编入的高校②打电话至高校提出咨询确认。③参观高校，商量入学情事④和母国高校取得连络、

寄送来在籍证明书以及成绩证明书⑤接受转入、编入考试。



必须再次考试

时，就必须重新考虑接受高校考试。必须和一般日本的学生一起接受高校考试，考试方法请参考 Q7 「日本的高校」，将有详细的说明。

Q.7

来日不久，立刻针对高校考试开始学习。日本高校有多少种类呢？ 【中国・女子】

A 日本高校根据目的以及经济等来分类。公立高校是都道府县以及市町村设立的高校。其学费是免费的。因为只能考 1 个学校的关系，也能作为第 2 希望，考私立高校。无论如何也希望能上公立高校时，请必须慎重的选择。

还有必须来日在 3 年以内，和父母同居为条件。实施外国人特别选拔入学的高校，在县内有 6 个高校。数学、英语的学力考试以及实施使用日本语进行个人面谈。详细情形、请向埼玉県教育局県立学校人事課（048-830-6735）提出咨询。

一般民间设立的私立高校，其学费年间平均大约 36 万日元。在这里也有设置外国人班级的高校。

另外、日本的高校有全日制、定时制、通信

制三种类。一般全日制的学习时间为 6 个小时，3 年毕业。

工作、学业想两立时，有从傍晚开始学习的定时制高校。通信高校、基本上是自己学习，提出报告、经过面试、考试，取得单位。另外、高校除了普通科以外，还有并设专门学科（工业科、商业科、农业科、外国语科等）



一年举办一次「不以母国语为日本语的学生的高校进学说明会」，有已进入高校外国学生的经验谈以及各高校的说明，请务必参加。决定了高校后，请参加针对高校考试，地区举行的模拟考试，来了解自己的水平以及学习成果。

另外、从夏季至秋季之间，实施学校说明会，请参加、并接受个人面谈提出咨询。

Q.8

儿子持有定住签证，能以留学生的身分进大学吗？ 【韩国・女性】

A 根据大学以及科系，外国人考试的报考资格有所不同。外国人报考时，条件比较多。决定了想要考的大学、科系以后，报考大学考试的要点，可以上网调查得知情报。

报考资格的条件。

①不是日本国籍者

②不过问国内还是国外，修完 12 年的学校教

育课程者，另外、在报考年度 3 月为止能修完课业者

③日本教育制度为基础，中学校、高等学校的在籍期间有一年以内者

④已通过「日本留学考试」还是要准备参加报考者

详细情形、请直接至希望的大学提出咨询。

Q.9

以留学签证来日，途中大学退学，就职已取得内定。就这样在日本工作，没有关系吗？ 【中国・女性】

A 中途退学时，将失去在留资格。如果就这样工作的话，将是非法就劳。

请先回国取得工作签证再入国。回国前、请内定的公司当保证人，向日本的入管局申请办理工作签证就行了。许可下来后，请至本国的大使馆取得签证再来日本。



希望您能成为日本和母国之间的桥梁，在工作上努力加油。我们期待着。



翻訳／山崎友理

Q.1

Ensine-me a respeito do exame de proficiência da língua japonesa(JLPT).Dizem que é muito útil para trabalhar no Japão. [Russa]

A O exame de proficiência da língua japonesa é exame que avalia e aprova a capacidade da língua

japonesa de quem não é nativa.É o exame da língua japonesa que tem maior número de vetebulandos.O novo exame alterado em 2011 está dividido em 5 etapas. Pode escolher o nível desejado.O exame é realizado 2 vezes por ano, julho e dezembro.Consiste de um sistema de escolher todas as respostas entre 4 opções. A questão é constituída de letra, vocabulário,gramática,leitura e análise,audição e análise.O exemplo da questão pode ser visto no internet. Mas aconselhamos que adquira um livro de questões e estudar repetidas vezes.



A aprovação no exame de proficiência da língua japonesa dá confiança e ajuda também no ingresso à escola e na procura de emprego. Tente estudar na classe de japonês mais próxima e prepare para o exame.

Q.2

Como a vida está difícil quero trabalhar também.Será que há lugar que fique com uma menina de 2 anos de idade? Ouço sobre creche(hoikusho,hoikuen) e jardim-de-infância,mas qual é a diferença? [Chinesa]

A As creches(hoikusho,hoikuen) são instituições que cuidam das crianças no lugar dos pais sem condições adequadas para cuidá-las durante o dia, devido ao trabalho ou doença.Ambas as partes desempenham o mesmo papel.No caso de quem vai trabalhar, o jardim-de-infância não é apropriada.

Nem todos inscritos são admitidos.Os encarregados vão examinar os documentos e vão determinar a admissão por ordem de prioridade.Quando surgir vaga será admitida a criança suplente por ordem de prioridade.Mesmo no caso de crianças inscritas para após o mês de abril, não havendo vaga devem esperar.

A mensalidade da creche varia muito.Franca para família que recebe assistência social até um alto valor de 50.000 ienes mensais.A maior parte paga 20.000 ienes.



Q.3

Trouxe meu filho das ilhas Filipinas.Vai ingressar na 1ª série da escola primária. Ensine-me como fazer trâmites para admissão à escola. [Filipina]

A ① Deve fazer o registro de estrangeiros(registro civil após julho de 2012)para que possa receber da prefeitura uma carta para fazer exame de saúde e explicação sobre ingresso na escola.Costuma chegar a carta em setembro ou outubro do de cada ano.

② Vai a escola no dia designado, faz-se a medição do corpo, teste de inteligência,exame odontológico, otorrinolaringológico e exame clínico.(Às vezes recebe também guia de explicação sobre o ingresso na escola)

③ Deve ir à reunião de explicação sobre ingresso na escola no dia e local designados.Deve ouvir a explicação a respeito do material escolar a ser adquirido, o que deve deixar pronto e preparado até ingresso. (Escrever o nome nos objetos que levam à escola)

④ Entrega o pedido de admissão na escola destinada no dia designado.Assim termina o processo de trâmites para ingresso na escola.

 point!

 É bom que saiba ler o hiragana e escrever o próprio nome antes de entrar na escola primária No Japão, no dia de cerimônia de entrada costuma enfeitar-se tanto mãe como filha.

Q.4 **Chegou a vez de ser membro da PTA(Associação de pais e mestres) da escola da minha filha.Qual é o trabalho do PTA? Não tenho confiança em mim para aceitar, porque não consigo falar bem o japonês. [Portuguesa]**

A Há membros para sede e para comissão especializada da PTA.Entre comissão especializada há membro das séries, de relações públicas, da merenda escolar, de “berumaaku”, e ambiental. O trabalho do membro exige o tempo e a disposição para trabalho coletivo, mas há pontos favoráveis também.

Indo mais vezes na escola, dá para perceber com seus próprios olhos o que está acontecendo na escola e na classe, como andam as crianças.Vai ter oportunidade de conversar diretamente com os professores também.Trabalhando e desempenhando o papel junto com as mães membros, um ano após já estará conversando naturalmente.

 good!

 É uma oportunidade de fazer amizade com pessoas da região.Todos têm receio. Vá com coragem e participe.

Q.5 **Trouxe meu filho da China. Tem idade de frequentar a 3ª série do ginásio.Como não entende o japonês será que poderia entrar na 2ª serie do ginásio. [Chinesa]**

A ① Vá e consulte a comissão de educação da cidade. Há comissão que permite entrar na série inferior. Mas a maioria entra na série que corresponde à idade.

② No caso de entrar na 3ª série do ginásio termina a série no mês de março, e querendo fazer novamente a 3ª série deve contatar diretamente com o diretor e tentar persuadí-lo..

 point!

 O ministério de educação e ciências que define o princípio de educação segue o sistema de educação por idade escolar, isto é, deixa entrar na série adequada com a idade. De modo que entrar entrar mudando a série ou repetir 2 vezes a mesma série não

condizem com o princípio do país. De país. Regulamento é regulamento.Não há jeito. Mas em vez disso, a família toda deve ajudar cuidar aliviando o fardo da criança trazida ao Japão na 3^a série do ginásio, ensinar , deixar frequentar classe classe de japonês ou escola complementar.

Q.6

Vim ao Japão em meados de 1^a série do colégio da China.Quero entrar no colégio do Japão. [Chinês]

A Há três maneiras de entrar no colégio do Japão.[Transferência]: veio ao Japão quando estava estudando no colégio do país materno.[Admissão]:tem pontos adquiridos apesar de ter saído da escola.[Novo exame]:quando não tem pontos adquiridos.

Nos casos de transferência e admissão:

- ① Primeiro consulte “Sai-no-kuni Saitama Koritsu KokoNavegation” ou ligue para Saitamaken Kyouikukyoku Kenritsugako Jinji-ka(048-830-6735) para saber se tem colégio que aceita a transferência ou admissão.
- ②Ligue para colégio para confirmar aceitação de transferência ou admissão.
- ③Visite o colégio e faça a consulta sobre ingresso.
- ④Entre em contato com o colégio do país materno, pede para enviar um certificado de estudante e de aproveitamento.
- ⑤Faça o exame de transferência ou de admissão.

No caso de novo exame,deve se submeter novamente ao exame de admissão a um colégio destinado aos ginásianos japoneses em geral.

Vide Q7 “Nihon no Koko”, como fazê-lo.



Q.7

Assim que cheguei no Japão comecei estudar para exame de admissão a um colégio.Quê tipo de colégios há no Japão? [Chinesa]

A Colégios do Japão são classificados por objetivo e por função econômica. Os colégios públicos são estabelecidos por Toquio, Hokkaido,Osaka,Kyoto e outras províncias e cujas mensalidades são gratuitas.Mas como só pode prestar o exame num colégio público, como segunda opção muitos procuram prestar no colégio privado.Por isso,querendo entrar no colégio público deve escolher com muita cautela.

Por outro lado, há 6 colégios na província que fazem vestibulinho para seleção especial de estrangeiros. Os requisitos exigidos são:está no Japão por menos de 3 anos e que vivem com pais.São feitos exame de matemática, inglês e entrevista individual em japonês.Consulte maiores detalhes no Saitamaken Kyoikukyoku Kenritsu Gakko Jinjika (048-830-6735.).

Os colégios privados são estabelecidos pela iniciativa privada cujas mensalidade estão em torno de 360 mil ienes anuais, e há colégios que implantam classe de estrangeiros também.

Ainda, há 3 tipos de colégios do Japão que são: diurnos, noturnos e por correspondência. Mais comuns são diurnos com 6 aulas diárias com 3 anos de duração. Os colégios noturnos cujas aulas começam tarde e dá para conciliar estudo e trabalho. Por correspondência basicamente tem que estudar por si só, vai obtendo os pontos apresentando relatórios, fazendo entrevistas e exames.

E, há colégios comuns que mantêm ensinos profissionais como industrial, comercial, agronômicos e de idiomas estrangeiros.



É realizado uma vez por ano “Orientação sobre ingresso no colégio para alunos estrangeiros”. Haverá relatos de alunos sobre experiências vividas e explanação dos colégios. Participe sem falta.

Uma vez escolhido o colégio, tente prestar exames simulados realizados na região para preparar ao vestibulinho. Além disso, tente ir a reunião de explanação sobre colégios realizada entre verão a outono e faça consulta individual.

Q.8

Meu filho tem visto de residência. Pode entrar na faculdade como bolsista? [Coreana]

A Os requisitos de requerimento para estrangeiro fazer vestibular diferem de universidades e faculdades. Há muitos requisitos para estrangeiro fazer vestibular. Uma vez definida universidade e faculdade aspiradas, pesquise mediante internet ou por outro meio sobre principais pontos do vestibular para estrangeiros dessa faculdade.

Requisitos do vestibulando:

① Não é japonês; ② Recebeu educação escolar durante 12 anos dentro ou fora do Japão ou está previsto o término até março do corrente ano em que vai fazer o vestibular; ③ Esteve matriculado por menos de 1 ano ao todo no ensino (gimnásio, colégio) baseado no sistema educacional do Japão. ④ Já fez exame de bolsista para Japão ou que pretende fazê-lo.

Procure saber maiores detalhes ligando diretamente ao gakusei-ka da universidade aspirada.

Q.9

Estava estudando numa universidade com o visto de bolsista. Saí da universidade no meio do estudo e consegui um emprego. Será que posso trabalhar assim mesmo? [Chinesa]

A Perde o visto de permanência se largar o estudo no meio. Se trabalhar assim mesmo será considerado trabalho ilegal. Portanto, deve voltar uma vez a seu país e reentrar com o visto de trabalho. Antes de ir embora, pede para empresa ficar avalista e fazer o pedido de visto de trabalho no departamento de imigração do Japão. Assim que conseguir, vai a embaixada do seu país materno e recebe o visto e venha ao Japão.



Procure trabalhar para que torne ponte de ligação entre Japão e país materno. Ficamos na expectativa.



翻訳／木場ひろみ

Q.1

En qué consiste el examen de aptitud respecto al dominio del idioma japonés (JLPT)? Dicen que el certificado JLPT es muy útil para trabajar en Japón. [Rusa]

A JLPT es el tipo de examen que determina el nivel de habilidad que un extranjero tiene con relación al dominio del idioma japonés. La mayoría de extranjeros que estudian el idioma japonés realizan el JLPT. A partir del año 2010 el JLPT ha establecido los (5) niveles de aptitud que permitan calificar el dominio del idioma japonés. Usted puede elegir el grado de manejo que desee lograr. El examen se realiza dos veces al año, en los meses de Julio y diciembre. El examen consiste en elegir la opción correcta entre cuatro alternativas posibles. Los temas a examinar se relacionan con las letras, el vocabulario, la gramática, lectura y audición. Por internet usted puede familiarizarse con este tipo de preguntas, sin embargo lo más aconsejable es comprarse en la librería uno de estos libros y estudiarlo con detenimiento.



Aprobar este tipo de examen aumenta la autoestima y le permitirá estudiar y trabajar exitosamente en Japón. Refuerze su preparación para dar el examen JLPT, estudiando en aquellos locales institucionales de enseñanza del idioma japonés con profesores voluntarios y que se hallan cerca de su casa. ¡No desista e inténtelo una y otra vez hasta obtener un certificado JLPT !

Q.2

Necesito trabajar pero tengo un hijo de dos años de edad. ¿En qué tipo de institución podría dejarlo para su cuidado correspondiente? ¿Cuál es la diferencia existente entre las instituciones tipo Hoikujo, Hoikuen y Yoochien ? [China]

A Para aquellos padres que están trabajando o con causas familiares por enfermedades lo cual les impida cuidar a sus niños, la institución recomendable corresponde al tipo Hoiku-sho y/o Hoiku-en ya que en términos generales cumplen el mismo papel y función que las guarderías. El tipo de institución Youchien o jardín de la infancia no es recomendable para los padres que trabajan. Cada Hoiku-sho tiene instalada una capacidad de atención limitada lo que determina que no todas las solicitudes de admisión puedan ser aceptadas. En consideración a los documentos presentados, el personal especializado examina, califica, clasifica y prioriza la inscripción según el número establecido de plazas. Las solicitudes que resultaron excedentes solo podrán cubrir algún cupo cuando quede vacante una plaza y en función al orden establecido. El pago mensual en una guardería tipo Hoiku-sho es muy variado. El más caro es de 50,000 yenes. Un promedio de 20,000 yenes concentra a la mayoría de los beneficiarios. La gratuidad del servicio es para las personas que reciben la ayuda social.



Q.3

He traído a mi hijo de Filipinas, ¿Qué trámites debo realizar para lograr que sea admitido para estudiar en la escuela primaria? [Filipina]

A ① Debe hacer el Registro de Extranjería (Registro Civil, después de Julio 2012). En septiembre u octubre del año anterior al ingreso escolar, recibirá una Carta del Alcalde que explicará todo acerca del ingreso y con la que podrá hacerse un examen clínico.

② El día designado irá a la escuela para que le tomen las medidas del cuerpo, apliquen un test de inteligencia y realicen los exámenes odontológico, otorrinolaringológico y clínico. Ocasionalmente puede ocurrir que reciba explicaciones acerca del ingreso a la escuela.

③ En el día, hora y lugar señalados debe asistir a la reunión de explicación de ingreso a la escuela. Allí le indicarán los materiales escolares que debe comprar y todo aquello que debe tener en cuenta para organizar un ingreso en condiciones adecuadas. (Escriba el nombre de cada objeto que llevará).

④ El día señalado debe entregar a la escuela correspondiente su solicitud de admisión. De esta forma concluye el proceso de ingreso a la escuela.



Es aconsejable que antes de ingresar a estudiar en la escuela primaria sepa ya leer Hiragana (letra japonesa) y escribir su nombre en japonés . En Japón se tiene por costumbre que la madre y el hijo vayan elegantemente vestidos a la ceremonia de ingreso a la escuela.

Q.4

Soy miembro de la PTA de la escuela donde estudia mi hija mayor. ¿Qué actividades realiza la PTA? Mi poco dominio del idioma japonés no me permite tener confianza para aceptar el cargo. [Portuguesa]

A La PTA es una organización de los padres de los alumnos y los profesores de la escuela; con la dirección general a la cabeza, se implementan comisiones especializadas para el curso escolar, las relaciones públicas, comidas escolares, el ‘berumaaku’ y el medio ambiente. Las tareas de cada miembro exigen tiempo y disposición para trabajar en equipo . Ser miembro de la PTA tiene sus ventajas. La PTA le va a permitir hacer un seguimiento de la vida escolar de su hijo y de la escuela, e conversar con los profesores. Desempeñando su papel de miembro del PTA junto a otras madres de familia le ayudará a conversar con naturalidad un año después.



Es una buena oportunidad de hacer amigos en su barrio. Todas se preocupan. No sienta miedo, ¡atrévase a participar!



Q.5

Mi hijo de nacionalidad china tiene la edad establecida para cursar el tercer año de secundaria pero como no sabe el idioma japonés ¿ es posible considerar su ingreso para estudiar el segundo año? [China]

A ① Vaya a consultar en la Comisión de Educación de la ciudad. Esta comisión es la que decide el ingreso a un año inferior de estudios. La mayoría ingresa a estudiar al año escolar que corresponde a su edad. ②. En caso de ingresar a estudiar el tercer año hasta el próximo marzo, le recomendamos ver directamente al director de la escuela y pedirle con entusiasmo estudiar en el tercer año, otra vez.



El Ministerio de Educación y Ciencia define uno de los principios de Educación que sigue el sistema de educación por edad escolar, es decir, permitir el ingreso al año escolar de acuerdo a la edad . De modo tal que cambiar el año escolar o repetir dos veces el mismo se contraponen al principio educativo del país. Si la decisión de la Comisión no es conforme al deseo de usted, no hay

más que aceptarlo. La familia debe cuidar la tensión emocional del hijo, reforzando sus estudios en casa y enviandolo a su aprendizaje del japonés y a academias especializadas.

Q.6

Vine a Japón cuando me encontraba cursando los estudios del primer año de educación secundaria superior en mi país, China. Quiero estudiar en una escuela japonesa de educación secundaria superior. [Chino]

A El ingreso a la escuela japonesa de educación secundaria superior comprende tres alternativas: (a) Dejó inconclusos los estudios en su país de origen para venir a Japón (Tennyuu o transferencia o traslado), (b) tiene consigo unidades de clase (Hennyuu o admisión) y (c) no tiene unidades de clase (saijyuken o nuevo examen). En el primer caso se trata de un proceso de traslado directo al nivel académico en que se encontraba, el segundo presupone teóricamente el derecho adquirido de admisión y el tercero determina la necesidad de rendir los exámenes de admisión correspondiente. La información básica y general al respecto puede obtenerse en la página web Sai-no-Kuni Saitama Koritsu koko Navegation. Pero en todos estos tres casos, para informarse bien de su situación, hace falta comunicarse telefónicamente con la sección de competencia: Saitama-Ken, Kyoikukyoku Kenritsu Gakko Jynzika (048-830-6735). Allí le informarán acerca de la existencia o no de colegios que aceptan el traslado, la admisión, o el nuevo examen. Telefónicamente confirme la aceptación de su caso. Visite las instalaciones del colegio seleccionado y aproveche para hacer las consultas necesarias relacionadas con el ingreso. A la Dirección del Colegio de educación secundaria superior de su país, solicítelle con tiempo el envío de sus certificados de matrícula, de notas académicas y de conducta o aprovechamiento. En los casos(a) y (b) procure dar el examen de traslado y/o admisión. En el caso(c), Saijyuken o necesidad de rendir un nuevo examen de admisión, lo hará en uno de los colegios destinados a los japoneses en general. Se recomienda la lectura de Q7 “Nihon no koko” para estar bien informado y saber cómo hacerlo y lograrlo .



Q.7

Después de instalarme en Japón empecé a prepararme para el examen de admisión a una escuela de secundaria superior o Koko . ¿Qué tipos de Koko existen en Japón? [China]

A Los colegios de Japón son clasificados por objetivo y función económica. Los colegios públicos son establecidos por provincias o ciudades y otorgan la matrícula en forma gratuita. Como los alumnos solamente pueden dar el examen de ingreso para un colegio público, suelen a tener, como segunda opción, a los colegios privados. Por eso, quien desee ingresar a un colegio público debe elegir con mucha cautela. En esta provincia hay 6 escuelas públicas que realizan una selección especial de extranjeros. Los requisitos de selección son (a) tener como máximo 3 años de residencia en Japón y vivir con sus padres, tutor o apoderado (b) aprobar los exámenes de matemáticas y del idioma inglés (c) dar una entrevista individual en japonés. Consulte mayores detalles en Saitama-Ken, Kyoikukyoku Kenritsu Gakko Jynzika (048-830-6735). Los colegios privados cobran mensualidades que están alrededor de los 360,000 yenes anuales. Hay colegios que implantan clases para extranjeros .

Existen 3 tipos de colegio en Japón : diurnos, nocturnos y por correspondencia. Lo más común es el colegio diurno con 6 horas de clase diarias y 3 años de duración. Los colegios nocturnos empiezan

las clases un poco tarde para permitir compatibilizar los estudios con el trabajo. Por correspondencia tiene que estudiar básicamente por si mismo, obteniendo los unidades vía la presentación de informes, haciendo entrevistas y dando exámenes. Existen otros tipos de escuela que enseñan cursos de especialización profesional en el campo industrial, comercial, agrario y de idiomas extranjeros, además del curso común.



Cada año se realiza con los estudiantes extranjeros una reunión de ‘Orientación sobre el ingreso al Koko’. Una de las particularidades de esta reunión es que, en ella se presentan alumnos extranjeros que relatan sus experiencias vividas en el Koko. Seleccionado el Koko, procure adquirir experiencia en el tipo de exámenes que se realizan en el proceso de admisión al koko acudiendo a las pruebas de simulación que son convocadas oportunamente en cada región. En ese mismo sentido, logre participar en la reunión de explicación que la escuela celebra cada año, entre el verano y el otoño, y aproveche la ocasión para efectuar consultas personalizadas.

Q.8

Mi hijo tiene visa de residencia ¿Puede postular a la Universidad para seguir estudios superiores? [Coreana]

A Dependerá del tipo de Universidad y de la Facultad de estudios para saber si su hijo califica para ser admitido como postulante al examen de ingreso. Existen muchos y variados requisitos. Definida la Universidad haga uso de medios adecuados de información como internet, por ejemplo, para encontrar la Guía de orientación para los exámenes de ingreso.

Requisitos que todo extranjero debe saber para postular al examen de ingreso a la universidad :

- ① Tener 12 años de educación escolar, realizados en Japón o en el extranjero. O en su defecto, si está convencido de que a fines del mes de marzo del año que va a dar el examen podrá contar con este requisito
- ② Haber ingresado al sistema educativo japonés cuyo periodo de matrícula es hasta un año como máximo
- ③ Haber realizado el “ryuugakusei shiken” que es el tipo de examen aplicado cuando se quiere ser estudiante en Japón o estar a punto de efectuarlo



Para tener una información más específica se recomienda consultar la sección “gakusei-Ka” de la universidad elegida.

Q.9

Estaba estudiando en una universidad con visa de estudiante. Abandoné los estudios a la mitad de la carrera y conseguí un empleo. ¿Podría empezar a trabajar sin problema? [China]

A No. Usted perdería el visado de residencia y estaría en condición de ilegalidad por la cual no podría realizar ningún tipo de trabajo. Ello determinaría la necesidad de tener que regresar a su país de origen y tratar de reingresar a Japón con visa de trabajo. Antes de regresar a su país, solicite a la empresa que le dió empleo que sea su garante o que haga el pedido de visa de trabajo en el Departamento de Inmigración de Japón . Si lo obtiene, vaya a la embajada de Japón en su país, reciba la visa y regrese al Japón.



Procure trabajar bien para hacer un puente entre Japón y su país.
Esperamos que tenga éxito.



Q.1

일본에서 일할 때 도움이 된다고 하는 일본어 능력 시험 (JLPT)에 대해 가르쳐 주세요. 【러시아·여성】

A 일본어 능력 시험은 일본어를 모국어로 하지 않는 사람의 일본어 능력을 측정해 인정하는 시험으로 일본어 시험으로서는 가장 수험자가 많은 시험입니다. 2010년으로 변경된 신 시험은 5 단계로 나누어져 있어 자신에게 맞는 레벨을 선택할 수 있습니다. 시험은 7월과 12월로 1년에 2회 실시되며 답은 모두 4지선택의 마크 시트 방식입니다. 문제는 문자·어휘·문법·독해·청해입니다. 문제 예는 인터넷으로 볼 수도 있습니다만 문제집을 서점에서 사 몇 번이고 반복해 학습하실 것을 권합니다.

good!



일본어 능력 시험에 합격하면 자신이 생겨 진학, 취직하는데도 유리하게 됩니다. 근처의 일본어 교실에서 검정시험 대책을 위한 지도를 받아 꼭 도전해 주세요.

Q.2

생활이 어렵고 나도 일하고 싶습니다. 2세의 여자 아이를 맡아 주는 곳은 있습니까?. 보육소, 보육원, 유치원 등 들은 적은 있습니다만 어떻게 다릅니까? 【중국·여성】

A 보육소나 보육원은 보호자가 일을 하거나 병 때문에 가정에서 충분히 보육을 할 수 없는 아이를 보호자를 대신해 보육해 주는 시설입니다. 어느 쪽도 내용은 같다고 생각해도 됨 같습니다. 일을 할 경우 유치원은 목적에 맞지 않습니다. 입소(원) 희망자 전원이 들어갈 수 있는 것은 아닙니다. 서류의 내용을 관계부서가 검토해 우선 순위를 정해 정원까지를 결정합니다. 빈 곳이 생겼을 때에 기다리고 있는 아이도 우선 순위로 들어갑니다. 4월 이후의 입소 희망자도 빈 곳이 없을 경우 기다리게 됩니다.



보육료는 생활보호 가정의 무료로부터 비싼 보육료의 경우는 월 5만엔 정도까지 있습니다. 비교적 많다고 생각되는 액수로서는 2만엔 대가 많은 듯 합니다.

Q.3

필리핀에서 아이를 불러왔습니다. 초등학교 1학년으로 입학합니다. 수속하는 방법을 가르쳐 주세요. 【필리핀·여성】

A ① 시청으로부터 취학 시 건강 진단이나 입학 설명회의 편지가 도착하도록 반드시 외국인 등록(평생 24년 7월 이후는 주민 등록)을 해 둡시다. 전년의 9월이나 10월 무렵에 편지가 도착합니다. ② 지정된 일시에 학교에 가, 신체 측정, 지능 검사, 치과, 이비인후과, 내과 검진을 받습니다. (여기서 입학 설명회의 안내를 받기도 합니다.) ③ 지정된 일시와 장소에서 입학 설명회를 들어 주세요. 구입할 학용품이나 입학까지 해 두어야 할 일, 준비물에 대한 설명을 듣습니다. (학교에 가지고 가는 것은 모두 이름을 쓹습니다) ④ 지정된 일시에 지정된 학교로 입학계를 제출하면 입학 수속이 끝납니다.

point!



초등학교 입학 전에 허리가나를 읽거나 자신의 이름을 쓸 수 있도록 해 두면 좋겠지요. 또, 일본에서는 입학식 날은 엄마와 아이 모두 멋을 조금 부리는 것이 풍습이 되어 있습니다.

Q.4

장녀가 다니는 초등학교로부터 PTA 의 임원 차례가 돌아 왔습니다. PTA 는 어떤 일을 합니까. 일본어를 잘 못하니까 말을 자신이 없습니다. 【포르투갈·여성】

A PTA 임원은 본부와 전문 위원회가 있습니다. 전문 위원회는 학년 위원, 홍보 위원, 급식 위원, 베르마크위원, 환경 위원 등이 있습니다. 시간을 내야 하거나 많은 사람과 하나의 일을 해야 하는 등 임원이 되는 것은 불안할지도 모릅니다만 플러스도 많이 있습니다. 학교에 갈 기회가 많기 때문에 “지금 학교나 학급에서 무슨 일이 일어나고 있는지, 아이들의 모습은 어떤가”를 자신의 눈으로 확인할 수 있습니다. 선생님과 직접 이야기할 기회도 들어 납니다. 임원인 엄마들과 일이나 역할을 함께 하면 일년 후에는 자연스럽게 수다를 떠는 사이가 되어 있을 것입니다.



지역 사람과 사이 좋게 될 수 있는 좋은 기회입니다. 자신이 없는 것은 모두 같습니다. 어깨에 힘을 빼고 활동에 참가해 봅시다.

Q.5

아이를 중국에서 불러왔습니다. 중학 3 학년의 취학 연령입니다만 일본어를 모르니까 중학 2 학년으로 편입시켜 주지 않겠습니까. 【중국·여성】

A ①시옵먼의 교육위원회에 가서 상담을 합니다. 교육위원회에 따라서는 취학 연령을 내려 편입을 허가해 주는 곳도 있습니다만 대부분의 경우 연령 그대로의 학년에 들어가게 됩니다. ②중학 3 학년에 편입해 3 월까지 학습하게 되었을 경우 직접 교장 선생님을 만나 내년에 한 번 더 3 학년으로서 공부하고 싶다고 간청해 보세요.



교육 방침을 결정하는 문부과학성은 연령에 맞는 학년에 편입시킨다는 취학 연령 주의입니다. 학년을 바꾸어 편입하거나 3 학년을 2 회 반복하는 것은 나라의 방침에 맞지 않은 것으로 희망대로 되지 않아도 어쩔 수 없습니다. 그것보다 중학 3 학년이 되어 불러 온 아이의 부담에 마음을 써 공부를 가르쳐 주거나 일본어 교실이나 학원에 다니게 하는 등 가족 전원이 그 아이를 위해서 노력해 주세요.

**Q.6**

중국의 고교 1 년 도중에 일본에 왔습니다. 일본 고등학교에 들어가고 싶습니다만. 【중국·남자】

A 일본의 고등학교에 들어가기 위해서는 세가지 방법이 있습니다. 모국의 고등학교 재적 중에 일본에 왔을 경우 【전입】 , 학교는 퇴학했지만 습득 단위가 있는 경우 【편입】 , 습득 단위가 없는 경우 【재 수험】 이 됩니다.

전입이나 편입의 경우는 ①우선 「사이노쿠니 사이타마 공립 고교 네비게이션」 으로 검색하거나 사이타마현 교육국 협립 학교 인사과(048-830- 6735) 에 전편입할 수 있는 고등학교가 있는지 문의합니다. ②고등학교에 전화를 해 전편입의 수락의 확인을 합니다. ③고등학교를 견학해 입학 상담을 해 주세요. ④모국의 고등학교에 연락을 해 재적 증명서나 성적 증명서를 받습니다. ⑤ 전편입 시험을 봅니다.

재 수험의 경우는 재차 고교 수험을 하게 됩니다. 일본인 중학생을 대상으로 한 일반 입시를 치르지 않으면 안됩니다. 수험 방법은 Q7 「일본의 고교」 를 참고로 해 주세요.

Q.7

일본에 오자마자 고교 입시를 위해 공부를 시작했습니다. 일본의 고등학교는 어떤 종류가 있습니까. [중국·여자]

A 일본의 고등학교는 목적이나 경제면 등에서 분류되고 있습니다. 공립 고등학교는 도도후켄이나 시마치무라가 설립한 고등학교로 수업료는 무료입니다만 1 군데 밖에 수험할 수 없기 때문에 제 2 지망으로 사립 고등학교를 수험하기도 합니다. 아무래도 공립 고등학교를 희망하는 경우는 신중하게 선택하지 않으면 안됩니다. 일본에 온지 3년 이내로 보호자와 동거하고 있는 것을 조건으로 외국인 특별 선발 입학을 실시하고 있는 고등학교가 현내에 6교 있습니다. 수학·영어의 학력 검사와 일본어에 의한 개인 면접을 실시합니다. 자세한 것은 사이타마켄 교육국 현립 학교 인사과(048-830-6735)에 문의해 주세요. 사립 고등학교는 민간이 설립한 고등학교로 수업료는 연간 평균 36만엔 정도이며 그 중에는 외국인 학급을 설치한 고등학교도 있습니다. 또, 일본의 고등학교는 전일제, 정시제, 통신제로 세 개의 타입이 있어 하루 6시간, 3년간에 졸업이 되는 전일제가 일반적입니다. 일과 학업을 양립할 수 있는 정시제는 저녁부터 통학합니다. 통신제는 기본적으로 자율학습이며 리포트, 면접, 시험을 거쳐 단위를 취득합니다.

또, 고등학교에는 보통과 외 전문학과(공업과, 상업과, 농업과, 외국어과 등)를 겸비하는 고등학교도 있습니다.



일본어를 모국어로 하지 않는 학생을 위한 고교 진학 가이던스」가 연 1회 열려 고등학교에 들어간 학생의 체험담이나 각 고등학교의 설명이 있습니다. 꼭 참가해 주세요. 고등학교를 선택하면 고교 입시를 위해 지역의 모의 시험을 치릅니다. 또, 여름부터 가을에 걸쳐 실시되는 학교 설명회에 가 개별 상담을 받읍시다.

Q.8

아들이 정주 비자를 가지고 있습니다. 유학생으로서 대학에 들어갈 수 있습니까. [한국·여성]

A 대학이나 학부에 따라 외국인 입시를 위한 출원 자격이 다릅니다. 외국인 입시로 수험하는 경우 많은 조건이 있습니다. 지망 대학의 지망 학부가 정해지면 그 대학의 외국인 입시 요항을 인터넷 등에서 조사합니다.

수험자격 조건

① 일본국적이 아닐 것 ② 국내외를 불문하고 12년의 학교 교육 과정을 마친 사람, 또는 수험하는 해의 3월까지 수료 가능 한 사람 ③ 일본의 교육제도에 근거하는 중학교·고등학교의 재적 기간이 통산 1년 이내일 것 ④ 「일본 유학 시험」의 수험이 끝난 상태나 수험 예정인 사람

자세한 것은 직접, 희망하는 대학의 학생과 문의하면 좋겠습니다.



Q.9

유학 비자 도중에 대학을 퇴학해 취직의 내정을 받았습니다. 이대로 취직해도 괜찮을까요. [중국·여성]

A 도중 퇴학했을 경우 재류 자격이 없어집니다. 이대로 일하면 불법 취업이 되기 때문에 일단 귀국해 취업 비자로 재입국해야 됩니다. 귀국 전에 내정한 회사가 보증인이 되어 주어 일본의 입국관리국에 취업 비자의 신청을 하면 좋겠지요.



허가가 내리면 모국의 대사관에 가서 비자를 받고 나서 일본에 와 주세요. 일본과 모국의 중개가 되도록 열심히 일 해 주세요. 기대하고 있습니다. 翻訳/鄭 玄淑

Q.1

Ano ang “Japanese Language Proficiency Test” (JLPT), na sinasabing malaking tulong upang makakuha ng trabaho? [Babae mula sa Russia]

A Ang “Japanese Language Proficiency Test” (JLPT), ay pinaka-malawak na suktan na pagsusuri ng “Japaneses language” sa buong mundo, ito ay isinasagawa upang alamin at bigyan ng sertipikasyon ang ang kahusayan sa “Japanese” ng “non-native speakers”. Ang binagong “JLPT” simula noong 2010 nagkakaloob ng 5 antas na pagpipilian ayon sa iyong kahusayan sa “Japanese”. Ang pagsusulit ay pinagkakaloob ng dalawang beses sa isang taon tuwing Hulyo at Disyembre. Ang katanungan ay sasagutin sa pamamaraang pagpili mula sa kategorya ng mga letra, bokabularyo, “grammar” pakikinig at pagbabasa ayon sa pagkakaintindi. Aming nirerekомenda na magsanay ng mabuti sa mga aklat na mabibili “bookstores” kaysa sumagot sa mga pagsusulit na matatagpuan sa “website”.



Good! Sa oras na maipasa ang “JLPT”, ikaw ay meron ng lakas ng loob sa iyong kakayahang sa “Japanese”. Sa karagdagan, ito ay makakatulong sa iyo upang mag-arat sa Kolehiyo o sa paghahanap ng trabaho. Huwag matakot humarap sa pagkuha ng pagsusulit! Pumunta sa “Japanese language class” na malapit sa iyong lugar at humingi ng suporta sa pag-aarat.

Q.2

Kailangan kong magtrabaho at kumita para sa pang-araw-araw na pangangailangan. Meron po bang maaring mag-alaga sa aking 2 taong gulang na anak na bababe? Napag-alaman ko ang tungkol sa “child care center”, “preschool”, “kindergarten” atibpa. Ano po ang kanilang pag kakaiba? [Babae mula sa China]

A Ang “child care centers” at “preschools” ay parehong maari sa mga magulang na hindi kaya mag-aruga ng anak sa kadahilanang ng karamdamang o hanapbhay. Ikaw ay makakaasa na ang parehong institusyon ay magkakaloob ng parehong serbisyo. Subalit, ang “kindergartens” ay hindi naka desenyo para sa nagtatrabayong ina. ang aplikante ay makakasiguro ng “enrollment”. Ang dokumento ng aplikasyon ay masusing pinag-aranan at isiniayos ayon sa limit ng “enrollment”. Ang mga mag-aarat na nasa “waiting list” ay tatanggapin ayon sa pagkakaroon ng bakante. Kahit na ang umpsisa ng pagbukas ng klase ay sa Abril, ang aplikante na nasa “waiting list” kailangang maghintay ng bakante. Ang pag-aaruga sa inyong anak ay pumapaloob sa babayarang 50,000 yen at depende sa benepisyong natatamo. Ang halaga ng binabayaran ng karamihan ay nasa 20,000 yen.

**Q.3**

Dinala ko ang aking anak dito sa Japan mula sa Pilipinas. Maari po bang malaman ang tungkol sa proseso ng aplikasyon sa pag enroll sa unang grado ng “Japanese elementary school”. [Babae mula sa Pilipinas]

A 1. Aplikasyon para sa “foreign registration card” (o “resident registration” pagkatapos ng Hulyo 2011) sa local na opisina ng munisipyo. Kayo ay makakatanggap ng paalala ng mga magaganap sa paaralan, tulad ng “school events” pagsusuring pangkalusugan, at “admission orientation” sa Setyembre o Oktubre bago mag bukas ang klase.
2. Bumisita sa “elementary school” sa petsa na nakasaad sa sulat at mag pasuri ng kalusugan, “body measurement”, “intelligent test”, at dental, “otolaryngological”, at pagsusuring medikal, (Maari ding

makatanggap ng sulat pa-anyaya para sa oryentasyon ukol sa admisyon.)

3. Pumunta sa “admission orientation” sa nakatalagang lugar, at petsa. Ipapaliwanag ng “staff” ng paaralan mga kakailanganin tulad ng mga gamit sa eskwela. (Isulat lang po ang pangalan ng ng inyong anak sa bawat gamit sa eskwela.)

4. Isumiti ang “admission permission” sa nakatalagang paaralan sa nakasaad na petsa.

point!

 Mag-ensayo ng Hapones, tulad ng pagbasa ng hiragana at pagsulat ng pangalan ng anak inyong anak bago mag-umpisa sa klase ay isang malaking tulong. Sa araw ng “entrance ceremony” sa Japan, ang kustombre ay ang bata at ang magulang ay gumagayak ng formal.

Q.4 **Kailangan kong makilahok sa “PTA committee” sa anak kong babae ngayong taon. Ano po ba ang ginagampanan ng “PTA committee”? Wala po akong konpiyansa na magampanan ang gawain sa PTA sa dahilang hindi po ako magkapagsalita ng hapones. [Babae mula sa Portugal]**

A Ang “PTA committee” ay organisasyon, kinapapalooban ng “headquarters” at “specialized sessions”, tulad ng “board of grade”, “public relations”, “school lunch”, “bell-mark”, at “environment sessions” atibp. Maaring makaramdam ng pagkabahala sa pag-ganap ng gawain ng “committee” sa dahilang maaring gawin ng nag-iisa sa oras na ikaw ay bakante at maari ding gawin kasama ng ibang miyembro. Subalit, maraming “advantages” sa pakikipag-isa sa “PTA”. Sa dahilang bumibisita ka sa paaralan ng madalas, makikita ng sarili mong mga mata kung ano ang nangyayari sa mga mag-aaral sa loob at labas ng paaralan. Sa karagdagan, mayroon kang pagkakataon kausapin ang guro ng diresto. Sa pakikipag trabaho sa ibang magulang sa “committee”, ang mabuting pakikipagkapwa ay nagbubunga ng magandang relasyon sa loob ng isang taon.

good!

 Ito ay magandang pagkakataon sa magandang pakikipagkapwa sa bawat isa sa komunidad. Bawat isa ay katulad ng kung ano ang iyong nararamdam. “Relax” at magsayang makilahok sa mga gawain ng PTA.

Q.5 **Dinala ko ang aking anak mula sa China. Sya ay nasa ika-3 grado ng “Chinese junior high school”. – aral sa ika-3 grado sa Japan. Maari po bang sya ay magsimula sa ika-2 grado sa “Japanese junior high school”? [Babae mula sa China]**

A 1. Bumisita sa “school board” at lokal na tanggapan sa opisina ng munisipyo. Merong pagkakataon na mag-ulit ng grado, subalit kadalasan ang bata ay inilalagay sa grado na ayon sa kanyang edad. Yun ay ang edad ang basehan kung anong grado ang mag-aaral.

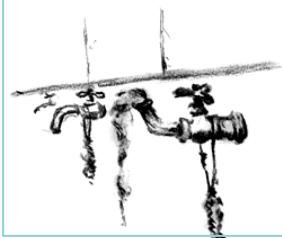
2. Kung ang inyong anak ay nailagay sa ika-3 grado sa taong ito, makiusap sa “principal” ng paaralan na paulitin sya ng ika-3 grado sa susunod na taon.

point!

 Ang “educational policy” ng “Ministry of Education” ang grado ng mag-aaral ay naka base sa kanyang edad. Subalit, kung ang iyong anak ang uulit ng ika-3 grado hindi na ito ang “national policy”. Subalit, kailangan bigyan ng masusing atensyon ang bata sa dahilang dumating sya sa Japan na nasa ika-3 grado na sya ng Junior high school, na syang pinaka importanteng panahon.

Q.6

Dumating po ako dito sa Japan nung ako ay nasa unang grado ng “high school” sa China. Paano po ako mag-eenrol sa “Japanese highschool”? [Lalaki mula sa China]



A Merong 3 paraan upang mag-enrol sa mga Japanese high school;

- Pag-transfer sa Japanese high school habang residente sa sariling bansa,
- Pag-transfer ng “units” na naipasa na sa sariling bansa,
- (c) walang “units”.

(a) at (b);

- “Research” sa website, “sai no kuni Saitama”, patungkol sa “high school entrance guidance” o kontakin ang Saitama Preternatural Education Center (048-830-6735) para sa “availability” o sa pag lipat ng paaralan.
- Tumawag sa “high school at kumpirmahan ang “availability”.
- Bisitahin ang paaralan at magtanong ukol sa pamaraan ng admisyon.
- Kontakin ang “high school” sa bansang pinag-aralan at humingi ng “request” upang ipadala ang “certificate of enrollment” at “transcript”
- Kumuha ng pagsusulit para sa admisyon.

(c);

Tulad ng “Japanese junior high students”, ikaw ay kailangang kumuha ng “entrance exam” para sa high school.” Maari po lamang alamin ang nasa T7 na nasa kasunod:

Q.7

Nais ko pong pag-aralan ang “high school” “entrance exam” sa panahong makarating ako sa Japan. Maari ko po bang malaman ang uri ng “high schools” sa Japan. [Babae mula sa China Chinesa]

A Maari kang mamili ng “high schools” depende sa iyong dahilan at pangangailangang ekonomikal. Sa dahilang ang “public high schools” ay establizado ng “prefectural governments”, hindi kailangang magbayad ng “tuition”. Subalit, kailangang mag-ingat sa pag desisyon kung saang paaralan papasok sa dahilang isang beses lang mamimili. Kung nais makasigurado mag aplay sa pribadong paaralan. Merong 6 na “high school” sa Saitama na nagkakaloob ng “special selection” para sa mga banyagang aplikante na nanimirahan sa Japan ng higit sa 3 taon at merong legal na guardian. Ang paraan ay “academic achievement tests” sa math at English at interbyu sa Japanese. Maari po lamang makipag-ugnayan sa Saitama Prefectural Education Center ukol sa mga impormasyon ng “public schools.”

Pribadong paaralan ay itinayo ng pribadong institusyon. Ang “average costs” ng pribadong paaralan ay nagkakahalaga ng 360,000 yen. Ibang pribadong paaralan ay nagkakaloob ng pagtuturo para sa mga estudyanteng banyaga.

Merong 3 uri ng “high school” depende sa klase ng kurikulum; “full-time”, “part-time” at “correspondence courses.” “Full time students”, ito ang popular sa Japan, papasok ng 6 na oras bawat araw sa paaralan at mag tatapos sa loob ng 3 taon ng pag-aaral. “Part time students”, nag ta trabaho sa araw, at mag-aaral sa gabi. Mag-aaral ng “correspondent courses” nag-aaral sa bahay. Upang maka kuha ng “credits”, ang mag-aaral ng “correspondent courses” ay kailangang mag sumite ng mga report, merong interbyu at pagsusulit.

Merong mga paaralan na nagkakaloob ng “special subject courses” (Industrial, Commercial, Agricultural, Foreign Languages, etc.) sa karagdagan ng “regular comprehensive course.”



Makilahok sa gabay sa “high school entrance guidance for students of non-Japanese speaker” isinasagawa isang beses sa isang taon. Maririnig ang “actual” na karanasan ng mga mag-aaral sa paaralan, sa oryentasyon at ibpa.

Pag nag desisyon na ng “high school”, subukan kumuha ng pagsusulit. Subukan din makilahok sa oryentasyon ng paaralan at tumanggap ng indibidwal na konsultasyon na ginaganap tuwing tag-init at tag-lagas.

Q.8

Ang anak kong lalaki ay merong “visa” na “long-term”. Maari ba siyang mag-aplay para sa “Japanese university” bilang isang “international student”? [Babae mula sa Korea]

A Kailangang ma-abot ang iba’t-ibang kailangan na naiiba sa unibersidad at sa departamento para makapag-aplay sa “Japanese university” bilang banyagang mag-aaral. Sa panahon na magdesisyon ng unibersidad, maaring alamin ang mga kwalipikasyon ng aplikante sa internet at ibpa.

Kwalipikasyon ng mga aplikante:

1. ang mag-aaral na walang “Japanese nationality”.
2. ang mag-aaral na naka-kumpleto o inaasahang maka-kumpleto ng 12 taon ng “high school education” sa ibang bansa,
3. ang mag-aaral na nag-aryl sa “Japanese public school” sa loob ng isang taon.
4. ang mag-aaral na makakapasa o inaasahan kukuha ng Pagsusulit para sa “Japanese University Admission for International Students” (EJU)



Maaring pong lamang na kontakin ang unibersidad na nais pag-apalayan para sa mga impormasyon.

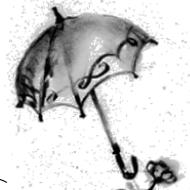
Q.9

Ako po ay merong “student visa” sa kasalukuyan. Nilisan ko po ang unibersidad bago ko makuha ang “degree” sa dahilang natanggap po ako sa trabaho. Ok po ba na mag-umpisa na ako sa aking trabaho? [Babae mula sa China]

A Ang iyong “visa” ay mawawalan ng bisa sa paglisan mo sa paaralan. Kaya, ikaw ay magiging ilegal pag nagsimula ng trabaho. Kailangang bumalik muna sa iyong bansang pinagmulan at papalitan ang iyong “student visa” sa “working visa”. Maaring magpa-guarantor sa kumpanya na iyong papasukan at sila din ay mag sumite ng “visa application” sa “Japanese immigration”. Sa panahon na matanggap ang permiso para sa iyong “working visa”, pumunta sa embahada na nasa inyong bansa and tanggappin ang “visa” upang makabalik sa Japan.



Gawin ang makakaya upang maging tulay ng magandang pagsasama sa pagitan ng bansang Japan at ng iyong bansa. Kami ay umaasa sa iyong tagumpay sa bagong trabaho.



翻訳／エリザベス・ナディビダット

東上線沿線の日本語教室

No.	駅	駅から	教室名	連絡先
	えき	えきから	きょうしつめい	れんらくさき
1	朝 霞	10 ぶん (えい あい えす)	朝霞地区インターナショナル ソサエティ (AIS)	048-465-1796
2	新 座	10 ぶん (にいざ)	イーブン (I V N) 「日本語教室」 いーぶん「にほんご きょうしつ」	048-477-1111 (新座市役所 地域活動支援室) (にいざしやくしきょ ちいきかつどう しえんか) 048-480-5705 (社協ボランティアセンター) (しゃきょう ほらんていあせんたー)
3	志 木	1 ぶん (しき)	こどもの日本語クラブにいざ こどもの にほんご くらぶ にいざ	090-1701-5572 (なかむら)
4	志 木	5 ぶん (しき)	新座日本語の会 にいざ にほんごのかい	048-471-3367 (まつもと)
5	柳瀬川	15 ぶん (やなせがわ)	かざぐるま日本語教室 かざぐるま にほんご きょうしつ	048-474-6508
6	みずほ台	3 ぶん (みずほだい)	こども日本語学習クラブ こども にほんご がくしゅう くらぶ	090-2334-4678 (まつお)
7	みずほ台	20 ぶん (みずほだい)	みよし日本語教室竹間沢 みよし にほんご きょうしつ ちくまざわ	049-259-8311
8	鶴 瀬	15 ぶん (つるせ)	みよし日本語教室藤久保 みよし にほんご きょうしつ ふじくぼ	049-258-0050
9	鶴 瀬	7 ぶん (つるせ)	富士見日本語サークル ふじみ にほんご さーくる	049-254-0715 (やまもと)
10	ふじみ野	30 ぶん (ふじみの)	大井日本語クラス あおい にほんご クラス	049-261-0648
11	ふじみ野	20 ぶん (ふじみの)	大井親子日本語教室 あおい おやこ にほんご きょうしつ	049-261-0648
12	ふじみ野	20 ぶん (ふじみの)	ふじみの国際交流センター 「日本語教室」 ふじみの こくさいこうりゅう せんたー 「にほんご きょうしつ」	049-256-4290
13	上福岡	5 ぶん (かみふくおか)	上福岡西公民館にほんご教室 かみふくおか にしこうみんかん にほんご きょうしつ	049-266-9501
14	ふじみ野	20 ぶん (ふじみの)	弁天の森 日本語サロン べんてんのもり にほんごサロン	049-262-4476
15	川 越	5 ぶん (かわごえ)	きれいな日本語・上手な会話・日本語中級クラス きれいな にほんご・じょうずな かいわ・にほんご ちゅうきゅう くらす	049-226-3401
16	川 越	5 ぶん (かわごえ)	クラッセで日本語 くらっせで にほんご	049-228-7723 (川越市役所 文化振興課) (かわごえ しやくしょ ぶんかしんこうか)
17	川 越	7 ぶん (かわごえ)	日本語クラブ・ふれあい広場 にほんご くらぶ・ふれあい ひろば	049-243-0038

No.	駅	駅から	教室名	連絡先
	えき	えきから	きょうしつめい	れんらくさき
18	鶴ヶ島	15分	国際理解部会日本語サークル	049-271-1111 (ないせん 273) (鶴ヶ島国際交流協会)
	つるがしま		こくさいりかいぶかい ほんごさーくる	(つるがしま こくさいこうりゅう きょうかい)
19	若葉・坂戸	15分	坂戸日本語教室「けやき」	049-281-3950 (ほさか)
	わかば・ さかど		さかど ほんご きょうしつ「けやき」	
20	若葉	12分	千代田日本語の会	049-284-1821 (たかはし)
	わかば		ちよだ ほんごのかい	
21	北坂戸	10分	北坂戸日本語ボランティア	049-284-0337
	きたさかど		きたさかど ほんご ほらんていあ	
22	北坂戸	1分	日本語サロン「つどい」	090-2303-7138
	きたさかど		ほんご さろん「つどい」	
23	東松山	10分	東松山国際交流協会「日本語教室」	0493-23-2221 (ないせん275)
	ひがしまつ やま		ひがしまつやま こくさいこうりゅう きょうかい 「ほんご きょうしつ」	

緊急のときに電話してください

きんきゅう の とき に れんらく してください



Call for help in emergency 紧急时、请来电

Ligue na emergência Llamar por teléfono en caso de emergencia

긴급할 때 전화해 주세요 Tawagan sa panahon ng angailangans

事件・事故

じけん・じこ

110

Crimes, Accidents

事件・事故

Incidente, accidente

Accidente, robo, delito

사건・사고

Krimen,Sakuna

急病・火事

119

Medical emergencies (sudden illness/serious injury), Fires

急病・火灾

Enfermidade repentina, incêndio

Emergencia, bomberos

긴급환자・화재

Medikal na pangangailangan(biglaang sakit/matinding sakuna), Sunog

きゅうびよう・かじ

ぼくごで そうだんできるところ

平成24年6月 更新

外国人総合相談センター埼玉 ((財)埼玉県国際交流協会)	048-833-3296	草加市役所国際相談コーナー	048-922-2970
がいこくじん そうごう そうだん せんたー さいたま E・C・K・P・S・T・Th・V Mon-Fri 9:00-16:00		そうかし こくさいそうだんこーなー E・C・K・S・Th・V・U・フランスご Mon,Wed,Fri 9:00-17:00	
さいたま市外国人生活相談	048-646-3097	富士見市・ふじみ野市 ・三芳町 生活相談	049-269-6450
さいたまし がいこくじんせいかつそうだん E (Mon,Wed) C (Thu) K (Tue) P (Wed) T (Mon) 9:00-12:00		ふじみし・ふじみのし・みよしまち せいかつそうだん E (Mon-Fri) 10:00-12:00 P (Mon) E-T (Tue, Fri) C (Wed, Thu) 13:00-16:00	
所沢市役所外国人生活相談	04-2998-9092	さいたま市国際交流協会	048-887-1506
ところざわし がいこくじん せいかつそうだん E (2,4Thu) C (1,3,5Thu) 13:00-15:30		さいたまし こくさいこうりゅうきょうかい E (Wed) C (Tue) K (Thu) 13:00-18:00	
上尾市役所ハローコーナー	048-775-4597	外国人119ネットワーク	090-3009-3619
あげおし はろーこーなー Mon E (9-12) C・P (13-16) S (9-12,13-16)		がいこくじん 119 ねとわーく E・P・S 9:00-19:30	
入間市役所	04-2964-1111 (内 2146)	オープンハウス (カトリックさい たま教区国際交流センター)	048-827-0055
いるま しやくしょ E (Tue) S (Wed) 9:00-12:00		おーぶんはうす E・T・S (Tue,Wed,Fri) P・V (Tue) 10:00-17:00	
川口市役所かわぐち市民 パートナーステーション	048-227-7607	KAFIN (Kawaguchi Filipino Neighborhood)	090-9203-7195
かわぐち しみん はーとなーすてーしょん E・C (Tue-Sat) T (Tue) K (Wed) 10:00-12:00 13:00-17:00		かふいん E-T At any time	
川越市国際交流センター	049-228-7723	在日本大韓民国民団	048-832-3198
かわごえし こくさいこうりゅうせんたー C (2.4Mon) S (1,3Fri) 13:00-18:00		ざいにほん だいかんみんこく みんだん K Mon-Fri 9:00-17:00	
市役所・町役場に来てください しゃくしょ・まちやくばに きてください			
東松山市役所 ひがしまつやましやくしょ	三郷市役所 みさとしやくしょ	蕨市役所 わらびしやくしょ	滑川町役場 なめがわまちやくば
◆通訳(つうやく)します E・C・P・S・T (Mon-Fri) 12:00-17:00			
◆生活相談(せいかつそうだん)ができます P (Mon) E-T (Tue, Fri) C (Wed, Thu) 13:00-16:00			
ふじみの国際交流センター	049-269-6450	English-E 中國語-C 한국어-K Portugués-P Español-S Tagalog-T Thai-Th Vietnamese-V Urdu-U	
ふじみの こくさいこうりゅううせんたー			
E (Mon-Fri) 10:00-12:00 P (Mon) E-T (Tue, Fri) C (Wed, Thu) 13:00-16:00			

こまつたこと が あつたら でんわ してください

外国人生活相談

がいこくじん せいかつ そうだん

月曜日～金曜日 10:00～16:00
げつようび きんようび

049-269-6450

- Foreign resident advisory center
Monday～Friday 10:00～16:00
- Japanese Language Class
Thursday 10:00～12:00

- Foreign resident advisory center
Lunes～Biyernes 10:00～16:00
- Japanese Language Class
Huwebes 10:00～12:00

- Consulta p/estrangeiros sobre cotidiano
Segunda～Sexta 10:00～16:00
- Quinta-feira Aula de Japonês
quintas-feiras 10:00～12:00

- Centro de Consulta a Extranjeros
Lunes～Viernes 10:00～16:00
- Clases de Japones los jueves en el
Los jueves de 10:00～12:00

日本語教室

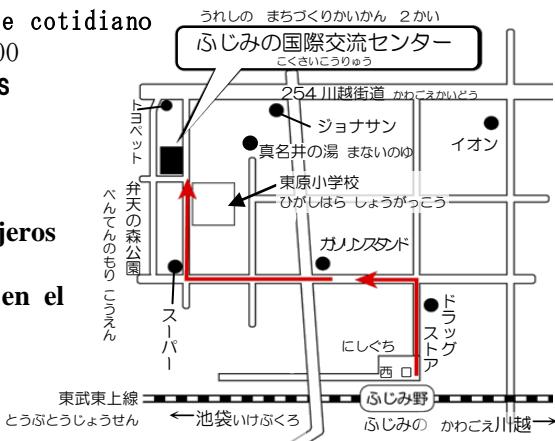
にほんごきょうしつ

木曜日 もくようび 10:00～12:00

049-256-4290

- 外国人生活咨询
星期一～星期五 10:00～16:00
- 日本語教室
每个星期四 10:00～12:00

- 외국인생활상담
월요일～금요일 10:00～16:00
- 후지미노국제교류센터 일본어교실
매주목요일 10:00～12:00



編集・発行

特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター

埼玉県ふじみ野市大井 2-15-10 うれし野まちづくり会館

TEL/049-256-4290 FAX/049-256-4291

<http://www.ficec.jp/>

定価 100 円